

別記様式（第10条関係）

議会報告会等実施報告書

開催日時	令和4年11月25日 19時00分～20時00分	
開催場所	大口町民会館 大研修室	
出席議員 4人 (総務建設常任委員会)	副委員長 江口 昌史 (司会、記録) 委員 齊木 一三 丹羽 孝 鈴木 和江	
参加町民数	6人 相手方：大口町商工会 青年部役員 事務局員	
実施内容	議会報告会	
	意見交換会	議会や町政に係る質問および要望を受け、意見交換を行った。
要望・提言等	①桜の季節にお祭りを ②道路整備を ③公園を増やして ④大中学生の素行の悪さを見聞きするが ⑤大中の制服改正は 【詳細は別紙】	
その他特記事項	特になし	

令和4年12月22日

大口町議会議長

齊木 一三 様

議会広聴広報常任委員会委員長

丹羽 孝 様

総務建設常任委員会 委員長 岡 孝夫

令和4年11月25日開催 総務建設常委員会（江口副委員長グループ）

1. テーマ 議会や町政に対する質問および要望
2. 場所 大口町民会館
3. 参加者 大口町商工会青年部役員および事務局員
参加議員 斉木一三 丹羽孝 江口昌史 鈴木和江
4. 意見交換会内容

【質問事項】

Q. 地域自治組織が出来た今、行政区の必要性は何か？

- A. 業務量の増加により、区長のなり手がなく、この先行政区が存続できるかが大きな課題となっているなか、現在まちづくりを考える会において地域ごとの共通行事を区から自治組織に移管することで区長の負担を軽減することを町に提言したところである。今後も引き続き、両組織の在り方を区長会や区長も参加の地域自治組織の理事会などで検討することになっている。

Q. 大口町の特産品、魅力は何か？今後の大口町のPRや広報活動はどのように行っていくのか？

- A. 大口町の特産品として、「かりもりづけ」があるが、まだブランド化までには至っていないのか現状である。今後の町が出資する農業法人にて、ブルーベリーやマンゴなどの果物の栽培を検討しているので、そういった取組みから特産品が誕生することを期待している。
また、魅力の発信については、現在行っているシティプロモーション事業のなかで若い世代に積極的に発信することでPRしていきたい。

Q. 大口町が主体となってお祭り等住民への興行を行う予定はあるか？

- A. お祭りではありませんが、3月26日に町制60周年記念事業が開催されます。当日は役場みなみ広場の横にキッチンカーが20台近く集結し、その周辺において様々なイベントが開催されるのでぜひご参加ください。

Q. 大口町が他の地域と比べて特化していることは何か？

- A. 町民の方に大口町の魅力について伺うと「便利な田舎」、「ほどよい田舎」を挙げられます。病院やスーパーなど生活に便利な施設がそろっている反面、田園風景や五条川などの自然もあることがこのまちの魅力であり特徴だと考えている。

Q. 今後の地域振興について、どのように考えていくのか？

- A. 将来的に観光振興に繋げる取組みとして、まずは住民がまちに対して誇りや愛着をもっていただくことで郷土愛を醸成することが大切と考えています。町民が大口町の魅力をSNS等で積極的に発信することで、大口町にゆかりのある人を呼び込むながら、若い人たちの移住・定住を促すプロモーション事業に力を入れていきたい。

Q. 今後の大口町における出産子育てについての考えは？

- A. 町は「こども条例」の制定に伴い、福祉こども課のグループと健康生きがい課の母子保健グループの組織の整備をしながら、更なる連携が取れる体制をつくっていくことになっています。妊婦、出産、子育て期における種々の子育て支援についても、その中で策を講じていきます。

Q. 議員の給料はいくらぐらいか？議員の仕事のみで生計が立つのか？

- A. 現在の議員報酬は29万2千円となっており、この額から税金や議会活動費用が差し引かれ手取りは23万円ほどになります。県内の他市町において定数割れも散見されるなか、若い方にも議会参加をしていただくように、議会も報酬の見直しを何度も検討して参りましたが、町民の方のご理解が得られず、改定するまでには至っていません。議員の仕事は報酬の額だけで判断はできませんが、生計的には町の議員は他に収入がある人や、年金が支給されている人でないと難しい仕事かもしれません。

Q. 議会が青年部に対して期待していることは何か？

- A. 大口町内における経済活動をより発展させるための様々なご意見を、ぜひ、議会にもお寄せいただき、それぞれの役割のなかで、一緒になって町内経済の更なる活性化に取り組むことができたらと考えております。

Q. 大口中学校の制服について、学校アンケートや保護者への説明があったがその後一転して進まないのはなぜか？

- A. 他市町の状況を鑑みながら現在検討しているところです。

【要望事項】

Q. コロナで苦しむ中小企業等に手厚い支援の継続をしてほしい。

A. 商工会は大口町の発展、とりわけ、経済活動の発展のために、プレミアム商品券事業をはじめ、町民の皆様の生活を豊かにするために様々な活動を行っています。ぜひ、それらの活動のなかでの困りごとや、大口町内における経済活動をより発展させるための様々なご意見をぜひ、議会にもお寄せいただき、それぞれの役割のなかで、一緒になって町内経済の更なる活性化に取り組むことができたらと考えております。

Q. 大口町にも飲食関係の複合商業施設を誘致することができないか。

A. 所管課に確認したところ、現在大口町では、飲食業やサービス業を行う施設が少ないことから、大口町としても、にぎわいを作れる場所を検討しており、鈴木町長も、今後は工場の誘致だけでなく、町民の皆様に楽しんでいただくためのサービス業の誘致についても検討しているとのことでした。

Q. 桜の季節に大口町が主体となって、お祭りを開催してほしい。

A. お祭りとなると、その地域の歴史や文化、またはそれらに関連する資源を活用することが大切です。現時点において今後新しいお祭りを創り出せる可能性を秘めているのは中小口にある、小口城址公園ではないかと考えます。

実際に大口町としても、春になると桜がきれいな南の堀尾跡公園と北の小口城址公園を大口町の2大観光名所にしていきたいという考えもあるようなので、ぜひ、皆さんのご意見もお聞かせください。

Q. 道路整備にも力を入れてほしい。(渋滞の解消、道幅を広げる、車線を増やす等)

A. 大口町内、朝夕の通勤、通学時間は、交通容量の不足や右折チャンネルがない交差点による渋滞の発生や、その渋滞を避けようとする車両が生活道路に入り込むなど、安心安全な生活に影響を及ぼしています。

整備に関しましては、多大な金額を要するため、大口町の単独事業では賅いきれませんので、国や県に対し、下記の道路整備について、補助金の要望を行っています。

- ・ 国道 41 号線の 6 車線化
- ・ 国道 155 号の 4 車線化
- ・ 愛岐南北線整備
- ・ 県道斎藤羽黒線バロー交差点の右折チャンネル設置工事
- ・ 県道宮後小牧線ヨシズヤ五差路右折チャンネル設置

Q. 公園や子供の遊べる場所をもっと増やしてほしい。

A. 今後も子どもや子育て中の親同士の集いの場は必要であり、親子とも安全に歩いて行ける公園などの設置は必要と考えます。しかし、日本全体が少子高齢化する時代、長期的に考えた場合、いつまでも本町だけが子供たちが増加するとは考えられません。子どもが成長し、公園利用者が減ったときに、作った公園などの施設を誰がどう管理、活用していくかも考えた決定が必要です。設置のためには地域の協力も不可欠となりますので皆様のご協力よろしく申し上げます。

Q. 大口中学校の生徒の持ち物が紛失したり、公園で爆竹遊びや喫煙、ゴミを放置するなどの素行の悪さを見聞きする。学校内の教育や指導が適正に行われているのか、家庭との連携がスムーズに行われているのか。先述のような子供は一部だけだと思うが、今後、子供が入学するため心配である。

A. 本町の学校教育課に確認したところ、公園で爆竹遊びや喫煙していたのは中学生ではなく、卒業生であったみたいです。この件に関しては、関係機関にも報告していますが、学校で把握していることに関しては、家庭と連携しながら子供たちへの指導を随時行っている。

Q. 大口中学校の制服について、改正するならば生徒にとって過ごしやすい形（選択しやすい、寒暖調整しやすい、扶桑町のように夏は無地のポロシャツにする、上下着衣の色の指定だけにする等）や経済的負担を減らせるようにしてもらいたい。

A. 本町の学校教育課に確認したところ、現在検討中であり、引き続き他市町の状況などを鑑み、良いところは取り入れるよう今後も検討していきます。